

# 令和6年度 事業報告書

社会福祉法人天宗社会福祉事業会  
理事長 土井 加津人

令和6年度における当法人・各施設の事業概要を下記にご報告致します。

新型コロナウイルスが5類感染症へ移行されているが、引き続きマスク着用、手指消毒、手洗い、うがいなどの感染対策を行いながら比較的制限のない状態での保育活動や福祉サービスを提供できた。しかし、出生率の低下から保育所の園児数は減少傾向であり、収入減となった。老人デイサービスは若干利用者数が回復したものの、厳しい経営状況は変わらない。このような状況で有っても、保育の質の向上や利用者サービスの向上を目指して各施設の安定した運営努力をうながしたが、施設の修繕等も増える傾向となった。老人を対象とした事業も乱立状態となっているが、地域に密着した施設として、さらに運営努力を促し、生き残れる施設として、職員一同サービスに努めた。

## 1. 法人全体事業運営

法人設立64年を経過した中で、現在保育所6カ所デイサービスセンター2カ所の経営をおこなっている。

理事会 3回 決算理事会、中間理事会、予算理事会

評議員会 3回 決算評議員会、中間評議員会、予算評議員会

令和5年度法人資産総額変更登記(大阪法務局)

令和6年度障害者雇用納付金・調整金等報告 法人の納付金 無(高齢・障害・求職者支援機構)

令和6年度高齢者雇用状況報告、障害者雇用状況報告 障害者3名雇用(阿倍野職安)

令和6年度経済構造実態調査報告(総務省・経済産業省)

労働保険料・一般拠出金 申告(大阪労働局)

財務諸表等 電子開示 報告(福祉医療機構)

令和6年度 法人・施設事業報告(福祉医療機構)

令和6年度全国退職共済掛金届及び納付(福祉医療機構)

令和6年度災害共済給付契約及び掛金納付(日本スポーツ振興センター)

令和6年度法人調書作成及び報告(大阪市福祉局)

法人定款変更届 提出(資産増加)(大阪市福祉局)

東住吉区・平野区・河内長野市清見台において待機児童は無く、乳幼児の数も減少傾向にあり、昨年度より園児数は年間延827名(月平均68.9名)、職員は22名(月平均1.8名)減少した。園児数が保育所の利用定員に達しないため、定員確保のため途中入園を積極的に受け入れる方法をとった。

令和6年度で保育園の卒園児数は合計で17,897名(昨年度より190名増加)と

なった。

各園が保育の向上を通して園児確保を図り、安定した経営の出来るよう、又、建物保持のため施設整備資金の積み立て等自己資金の保有の必要性のため、各園で個々での強化を引き続き要請した。

デイサービスセンター利用者は今年度も新型コロナウイルス感染症対策で利用控えがあったがデイサービス数は前年と同数。ケアマネ対応数は延20名（月平均1.7名）、ランチ介護支援相談数延115件（月平均9.6件）、訪問介護利用件数は年間延108件（月平均9件）、増加した。昨年度より減少事業は無くなったが他介護施設との競合があるため、利用者ニーズに合った施設運営をはかり、利用者の増加をはかるべく、施設のPRをはかった。

今年度も保育所監査が実施された。

## 2. 施設別事業運営

法人の理念である人間尊重と社会正義に満ちた人間育成と行き届いたサービス提供を基本として、各施設での目標を立て、質の向上をはかり園児の確保や利用者の確保に努力した。

### ○天宗瓜破園

乳児保育、特別支援（障がい児）保育、延長保育（7時～19時30分）、体調不良児への看護を実施した。乳幼児期の学校教育・保育を統合的に提供する保育課程の編成と実践を心がけた。養護と教育を不可分一体のものとしての保育の展開を実践した。育児相談支援実施。保護者支援を実施。子どもの「育ち」を「育てる」ため、保育の実施内容の保管に努めた。（ビデオ、写真、書面の記録）。園児の絵画も今年も外部の絵画展も2件（全国教育美術展、世界児童画展）に出品し、例年とおり多くの賞を受賞した。

卒園児の進学小学校に入学祝電と共に保育所児童指導要録を送付した。

行事も七夕まつり音楽会、保育参観、夏祭り、敬老の集い、お遊戯会、製作展など実施し年間の行事を通して保護者に園での活動の様子を見て頂くことでこども達の成長を確認した。

地域活動では、老人デイサービス2か所へのお年寄り訪問を再開し、交流を深めた。

不審者侵入防止の為門扉のオートロック化と交通事故防止のため、登園、降園時に園長・保育士交替で門前に立ち、園児と保護者を迎え初期間診を行うとともに、津波を想定した避難訓練の実施や不審者対応訓練を実施し、園児の安全をはかった。

給食も栄養豊富な献立とし、定期的に和歌山の農協に買出しに行き、毎日、新鮮な果実を提供した。

職員の資質向上については、キャリアアップ研修の受講に努めた。また、応急手当普及員資格を取得している看護師が講師となり、事故防止対応研修を開催し、園内の事故防止の向上に努めた。

## ○天宗瓜破東園

乳児保育、特別支援（障がい児）保育、延長保育（18時半～19時半）を実施。

保育参観は平日に参加人数を制限して複数回に分けて実施。また朝の会や給食の様子はvimeoを活用してパスワード付き動画配信を実施。7月に年長児のお泊まり保育を園舎にて実施。防災リーダーを中心に9月の第一週は防災週間として、災害時を想定した訓練や遊びを一週間通して実施。運動会は小学校を借りて人数制限行い、2部制で実施。夏野菜、冬野菜を栽培し、11月には年長児が園内菜園のさつまいも掘りを体験。さつまいもで焼き芋、カレーを作り、食育活動を実施。

子育て支援事業として5月～2月に園庭開放を行った。

特別支援保育では、保護者と面談にて支援計画書とともに作成し、家庭と連携して支援にあたるようにした。毎月、特別支援リーダーを中心に支援児の事例検討会を行い、支援児の情報を共有した。

保育士の負担軽減目的で日誌をICTシステム「ルクミー」のヒトコマ（写真にコメントを記録するもの）として記録することにした。週案は学年・クラスで週一回保育を振り返る「クラスミーティング」を行い、それを元に作成するようにした。週初めに週案を担任同士で確認することで、正規保育士、非正規保育士が意識的に連携して保育に取り組めるようになった。災害用品として、食糧（ミルク等）、毛布、医療品、着替え（紙おむつ等）購入した。保護者への一斉連絡のため、携帯電話による一斉メール配信システムを導入し、総合防災訓練を地域と連携し実施した。

保育士が主体的に学ぶことを目的とした園内研修を月1回実施。人権研修を全職員で実施。また看護師を中心に消防署立ち合いの救命救急講習、食物アレルギー誤食シミュレーション、嘔吐処理シミュレーションを実施。1月にはグループごとに研究テーマを決めて発表会を実施。キャリアアップ研修は該当保育士の70%が研修を終了した。年2回自己評価を行い、自己評価返却時に副主任との面談を行った。

卒園児の保育所児童要録を就学先の小学校に入学祝い文とともに送付した。

## ○天宗長吉園

乳児保育、延長保育（7時～19時）、特別支援（障がい児）保育を実施した。コロナ禍の影響で子どもたちが屋外での体験をする機会が減り、以前の世代と比べると幼く感じられる場面が増えた。その結果、保育士が子ども一人ひとりにかかる時間が増えている。こうした状況を踏まえ、行事も現在の子どもに適したプログラムへと再構築した。この1年「思いっきり楽しく遊べること」を重視し、子ども達が心から楽しめる活動になることを考えた。

特別支援保育に関しては、子どもだけでなく保護者に対してもフォローし、関係機関と連携し療育につながるよう努めた。他にも配慮が必要な子ども達に関しては、全職員で共有しフォローするよう努めた。

職員のキャリアアップ研修は4科目修了者が増え、希望する職員には引き続き研修を受講させた。他、外部研修、園内研修を積極的に行い保育士の資質向上に努めた。

安全対策としては、監視カメラ等、セコムによる防犯セキュリティを使用し、訪問者はカメラ、インターホンで確認後、門扉の開錠を実施。登降園時は、職員とシルバー人材センターからの派遣職員が門前の安全確認、「保護者証」着用の徹底を行った。保護者への通知は紙面だけでなく「ミマモルメ」アプリを活用し、デジタルでも発信した。情報公開として、ホームページで行事や日常生活の様子を公開した。子育て支援事業に関しては、園庭開放・相談事業・保育園体験などをおこなった。また、近隣の学校との連携により、インターンシップを受け入れ、多くの中高生が保育士体験に参加した。

### ○天宗東住吉園

乳児保育、特別支援（障がい児）保育、延長保育を行った。地域子育て支援事業のセンター園として、就園前乳幼児を受け入れ園庭開放や育児相談並びにベビーマッサージ等を実施し、子育て家庭への援助を行った。

気になる子どもへの関わりや虐待への早期発見や支援に努めケース会議にも出席し、区の子育て支援室、保健師等と連携を図ることも出来た。

警備員による登降園時の見守りや看護師による乳幼児の健康管理、感染症予防、アレルギー食の誤食防止指導、手指の手洗い指導も行った。食育の面では栄養士による旬の食材や三大栄養素のお話・クッキング・芋ほりを体験し食べる事、生きる事への喜びや感謝の気持ちを育んだ。区役所ラビット隊に来ていただき、交通安全などのお話も行っていただいた。各大学、短期大学の保育実習を受け入れた。今年度は、矢田東小学校との連携を盛んに行い園児の小学校訪問や職員間での研修にも参加した。

又、卒園児の保育所児童要録を就学先の小学校に入学祝い文とともに送付した。

職員研修では、施設内人権啓発研修や感染症対策研修も実施した。

### ○天宗清見台園

乳児保育（産休明け受け入れ）、延長保育（7時～19時）、特別支援（障がい児）保育、園庭開放、育児相談等の子育て支援事業、一時保育事業を実施（自主事業）した。

特別保育として、英会話・スペイン語遊びを導入し、コミュニケーション能力の向上を図った。茶道・書道教室の導入で、礼儀作法、集中力を養った。音楽リズム活動としてマーチング・器楽・和太鼓等により協調性、情操性を養った。

地域の高齢者や児童、卒園児を園行事(夏祭り・敬老の集い・運動会)に招き、在園児との交流を図った。

職員研修では、保育士等キャリアアップ研修を受講させ、処遇改善を図った。また、人権研修(園内)を通じて、人権意識の高揚を図った。

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、保育参観・夏祭り・敬老の集い・運動会・ひなまつり発表会等の予定していた年間行事を実施した。

大阪府共同募金助成事業を受け、厨房の換気フードと換気扇の取り換え工事を実施した。不審者対策として、防犯カメラの園内外2ヶ所への設置とモニターによる監視システムを導入している。

卒園児の入学先小学校宛に入学式のお祝いと保育所児童保育要録を送付した。

地元の川上地区まちづくり協議会の活動（じゃが芋・さつま芋堀り）に協力し、地域の方々との世代間交流を図った。

## ○大阪市立矢田第三保育所

大阪市より運営委託を受けて13年目が過ぎた。乳児保育・延長保育(7時30分～19時30分)・特別支援(障がい児)保育・子育て相談を実施。

### 1.保育全体の取り組み

- ① 安全保育 電解水の利用や無線機の導入。砂場の衛生管理、給食室の衛生管理で大阪市健康局長の表彰を受けた。又大阪市保健所より「衛生優秀賞」を毎年受けている。9月より建物改修を大阪市内で実施した。ラビット隊による安全講習では、幼児クラスを対象に「不審者対応」、女性警察官の指導による「交通安全を受講することで、自分を守る大切さを学んだ。
- ② 地域交流 矢田小学校区教育協議会による新聞の発行に参加し連携を深めた。支援の必要な家庭については、関係機関と連携をとりながらケース会議を行い、療育施設との連携等、保護者や子ども達に寄り添う支援が出来た。  
所庭開放を年3回実施した。小学校で入学体験があり、就学前の子ども達に期待感を持たせる事が出来た。職場体験で中学生との交流を実施した。  
入学予定の小学校の先生方に子ども達の様子を見て頂き、引継ぎを行い、保育所児童要録をお祝い文と共に届けた。
- ③ 文化活動 毎月1回の絵本の貸出しを実施。8月には「平和についてのお話」を行った。
- ④ 異年齢児交流 「こどもの日の集い」「七夕まつり」「夏祭り」「遠足」「クリスマス会」「3月お別れ会」等を全所児で行う。
- ⑤ 食育の取組 計画に基づき、野菜を育て収穫し、クッキングや管理栄養士による栄養のお話、年長児に向けての‘魚の解体ショー’等、子ども達にとって良い体験ができた。

### II.保護者に対する取り組み

- ① 行事絵の参加 運動会。生活発表会
- ② 保育参観・クラス懇談
- ③ 個人懇談
- ④ 登所、降所の対応

## ○老人デイサービス瓜破西地域在宅サービスステーション「てんそう苑」

デイサービスセンターは月～土まで毎日開苑(祝日も開苑)し、利用者の便宜を図った。利用者の個別機能訓練を実施。またDAMを活用し体操や脳トレなど機能向上へ取り組み機能維持を図った。保育園児交流や地域からボランティアの受け入れ、外出行事等を行い利用者の心身機能活性化を図った。居宅介護支援事業では特定事業所加算を算定し質の高い事業所運営に努めた。訪問介護事業においても特定事業所加算を算定開始し介護報酬減額に対応した。又総合支援費における居宅介護事業は三障害(身体、知的、精神)に

対応した。ヘルパー不足に対応するべくコミュニケーションに力を入れ業務による心身のストレス緩和に努めた。今後は職員の若返りを図りながら、利用者ニーズに対応できるようにしたい。地域包括支援総合相談窓口（ブランチ）を設置し、常勤専従職員を配置し、地域との連携を図り実態把握を行った。地域包括支援センターと連携を図り困難ケース対応を行い一定の成果を挙げた。担当者が10年経過し顔なじみとなり、地域からの相談件数が増えた。地域包括支援センターと協働し、地域ケア会議を開催し虐待の対応や地域ネットワークづくりに取り組んだ。

#### ○老人デイサービス 平野地域在宅サービスステーション

平野中学校の校庭の南東500㎡を大阪市より有償借り入れ（28年度より）により施設を開設し21年を経た。地域の総合相談窓口（ブランチ）として、専従の常勤職員を配置し、地域からの相談に応じた。また、関係機関と連携を図り一定の成果を挙げ地域のよろず相談所としての機能を果たした。デイサービスでは理学療法士の常勤配置により、利用者の身体機能向上に資するよう機能訓練等を実施した。新型コロナウイルス感染の影響もあり、施設においても感染予防対策を徹底して行った。利用者も徐々に回復傾向にある。楽しみをもって活動に参加できるよう施設内にて取り組みを行い、利用者のニーズに対応できるよう努めた。

訪問介護では適正な人員確保に努め、在宅利用者の生活支援等に充実を図った。

居宅介護支援において主任介護支援専門員を配置し、困難ケースや福祉対応等あらゆる相談に応じ、対応に当たった。

# 令和6年度事業概要説明書

## 1、施設 の 沿革

- 昭和35年 3月26日 社会福祉法人天宗保育園の設立認可を受ける。
- 昭和35年 4月 1日 保育所天宗保育園（天宗長吉園）の設置認可を大阪市長より受け定員60名にて開園する。
- 昭和39年 3月 1日 保育所天宗保育園瓜破園（天宗瓜破園）の設置認可を大阪市長より受け定員60名にて開園する。
- 昭和39年 4月29日 優秀法人として天皇陛下より表彰され、御下賜金を受ける。
- 昭和42年11月 1日 天宗長吉園の定員60名を80名に増員変更して大阪市長の認可を受ける。
- 昭和44年 3月31日 昭和43年度日本自転車振興会の補助金を受け天宗第二瓜破園の設置認可を大阪市長より受け定員90名にて開園する。
- 昭和45年 8月31日 天宗学園の敷地拡張595㎡の隣接地取得。
- 昭和46年 3月22日 第二瓜破園東側隣接地161㎡を給食センター用地として購入
- 昭和46年 3月31日 天宗第二瓜破園園舎375㎡増設し定員90名を150名に増員変更して大阪市長の認可を受ける。
- 昭和46年 7月25日 社会福祉法人天宗保育園を社会福祉法人天宗社会福祉事業会と改称する。
- 昭和46年10月 5日 天宗第二長吉園新設のため敷地992㎡取得する。
- 昭和47年 3月31日 天宗瓜破園園舎453㎡増設し定員90名を150名に増員変更して大阪市長の認可を受ける。
- 昭和47年 3月31日 天宗第二瓜破園園舎245㎡増設し定員150名を200名に増員変更して大阪市長の認可を受ける。
- 昭和47年 4月 1日 第二瓜破園隣接地に寄宿舎及び給食センターを建設し合同給食開始
- 昭和48年 3月31日 昭和47年度日本船舶振興会の補助金を受け天宗第二長吉園の設置認可を大阪市長より受け定員150名にて開園する。
- 昭和49年 3月31日 昭和48年度日本船舶振興会の補助金を受け天宗瓜破園の園舎を増設し定員150名を250名に増員して大阪市長の認可を受ける。
- 昭和50年 4月 1日 昭和49年度日本自転車振興会の補助金を受け天宗東住吉園の設置認可を大阪市長より受け定員175名にて開園する。
- 昭和50年 5月 1日 昭和50年度日本船舶振興会の第一回補助金を受け保母養成施設天宗保育学院の建設を開始する。
- 昭和51年 4月 1日 昭和50年度に引き続き日本船舶振興会の第2回補助金を受け保母養成施設天宗保育学院の建設を完成する。
- 昭和52年 4月 1日 保母養成施設天宗保育学院定員1部100名2部150名の認可を受け開校する。
- 昭和52年 4月 1日 天宗保育学院の建物1階部分に天宗瓜破園の園舎を増設したので、定員250名を314名に増員変更して大阪市長の認可を受ける
- 昭和54年 4月 1日 天宗東住吉園園舎785㎡増設し定員175名を310名に増員変更して大阪市長の認可を受ける。

昭和54年	6月20日	昭和53年度日本船舶振興会の補助金を受け保母養成付属施設天宗保育学園学生寮を建設する。
昭和55年	4月1日	保母養成施設天宗保育学院に大阪府知事より専修学校の認可を受け、同時に名称を天宗保育専門学校と改称する。
昭和55年	4月1日	天宗長吉園の借地返還請求により大阪市長の許可を受け天宗長吉園を廃園する。
昭和55年	4月1日	天宗長吉園（定員80名）の廃園により天宗第二長吉園の定員150名を230名に増員変更し大阪市長の認可を受ける。
昭和58年	9月10日	大阪府河内長野市清見台の清見台団地内に保育所用地1577㎡を購入する。
昭和59年	10月25日	天宗瓜破園の菜園用地及び自転車置き場用地として259㎡の土地を購入する。
昭和59年	12月25日	天宗瓜破園の第2運動場用地として661㎡の土地を購入する。
昭和60年	4月1日	天宗保育専門学校の1部（昼間部）保育科を保育・社会福祉主事科に変更し厚生大臣より保母と共に社会福祉主事の養成の認可を受ける。
昭和62年	5月20日	天宗瓜破園の菜園用地として120㎡の土地を購入する。
平成元年	4月1日	昭和63年度国庫補助金を受け天宗清見台園の設置認可を大阪府知事より受け定員60名にて開園する。
平成2年	4月1日	天宗保育専門学校に介護福祉士養成の為、介護福祉科の設置認可を厚生大臣より受け定員30名にて養成開始
平成3年	3月31日	天宗保育専門学校第2部保育科を廃止
平成3年	4月1日	天宗保育専門学校の校名を養成内容にふさわしく天宗社会福祉専門学校と変更する。
平成3年	4月1日	天宗第二瓜破園乳児室改造により定員変更（内訳変更）
平成4年	4月1日	天宗東住吉園の定員変更減（310→262）
平成4年	4月1日	天宗東住吉園一時保育事業開始
平成10年	2月1日	天宗清見台デイサービスセンター事業開始（保育所天宗清見台園に付属の事業）
平成10年	3月1日	瓜破西地域在宅サービスステーションてんそう苑を新築し老人通所事業を開設する。（瓜破西中学校下型の単独施設）
平成12年	4月1日	介護保険法成立により瓜破西地域在宅サービスステーションてんそう苑、天宗清見台デイサービスセンターを介護保険適用事業所として認定される
平成12年	4月1日	瓜破西地域在宅サービスステーションてんそう苑・に訪問介護事業を追加する。
平成13年	4月1日	平成12年度少子化対策臨時特例交付金を受け天宗社会福祉専門学校寮の建物を天宗第二長吉園の乳児棟に改造し乳児の定員増を実施。
平成13年	4月1日	平成12年度少子化対策臨時特例交付金を受け廃止した給食センター部分（1階）を第二瓜破園の乳児室に改造し乳児の定員増を実施する。
平成13年	12月31日	天宗清見台デイサービスセンター 事業休止する。
平成14年	3月31日	平成13年度日本財団の補助金を受け（天宗社会福祉専門学校1階天宗瓜破園

保育室耐震工事を完了

平成14年	3月31日	天宗社会福祉専門学校1階事務室・校長室耐震工事、玄関改造工事完了
平成15年	3月31日	天宗瓜破園旧館1階耐震工事を完了（自己資金）
平成15年	3月31日	天宗清見台デイサービスセンター 事業廃止
平成15年	4月1日	河内長野市補助金を受け天宗清見台デイサービスセンター室を保育室に改修し天宗清見台園の定員60名を90名に変更する。
平成15年	4月1日	平成14年度大阪市乳児保育促進整備補助金を受け給食センターの居宅棟2階部分を第二瓜破園の保育室に改造し定員230名を260名に変更する。西側隣接保育棟2階と接続する。
平成16年	4月1日	天宗第二長吉園を天宗長吉園に施設名変更する。
平成16年	4月1日	大阪市立平野中学校南東角地を借地し平野地域在宅サービスステーションを新築し老人通所介護事業（定員25名）を開始（平野中学校下単独施設）
平成16年	5月1日	てんそう苑に知的障がい者及び身体障がい者の訪問支援事業を開始する。
平成17年	3月31日	天宗瓜破園旧館2・3階耐震工事を完了（自己資金）
平成17年	4月1日	天宗長吉園の定員262名を300名に変更する。（大阪市の要請）
平成17年	8月31日	平野地域在宅サービスステーション3階屋上の一部17㎡を訪問介護事業の事務所及び相談室として増築する（自己資金）
平成17年10月	1日	平野地域在宅サービスステーションに訪問介護事業を大阪府の認可を受け開始する。
平成18年	2月1日	平野地域在宅サービスステーションの知的障がい者及び身体障がい者の訪問支援事業を開始する。
平成18年	4月1日	てんそう苑と平野地域在宅サービスステーションに介護予防通所介護事業及び介護予防訪問介護事業を追加し実施する。
平成18年10月	1日	てんそう苑と平野地域在宅サービスステーションに障がい者立支援法に基づく障がい者等訪問介護事業を引き続き実施する。
平成18年10月	1日	てんそう苑に精神障がい者の派遣事業開始
平成19年	3月31日	平野地域在宅サービスステーションに障がい者等訪問介護事業を廃止する。
平成19年	4月12日	天宗第二瓜破園の園舎1棟の建物延面積を820.54㎡から794.42㎡へ変更する（錯誤判明のため）附属建物3戸46.71㎡を取り毀し倉庫2階建1戸37.54㎡に変更する。
平成20年	3月31日	天宗社会福祉専門学校 閉校
平成20年	4月1日	天宗第二瓜破園の名称を天宗瓜破園東園に変更
平成20年	4月1日	天宗社会福祉専門学校敷地。建物を天宗瓜破園に移管し変更する
平成20年	6月1日	旧天宗社会福祉専門学校の2階部分を全面改修し天宗瓜破園の保育室等にし保育開始。
平成23年12月	1日	障がい者移動支援事業の内、視覚障がい者移動支援事業が同行援護として事業開始。
平成24年	4月1日	大阪市立矢田第三保育所の運営委託を受諾し定員100名で保育開始する。

平成26年10月28日 天宗瓜破東園の立替新築工事開始  
 平成27年 7月18日 天宗瓜破東園第1期建替工事完成  
 平成29年 3月30日 天宗瓜破東園第2期建替工事完成  
 平成29年 6月30日 天宗瓜破東園 園庭整備・外構工事 完成  
 平成29年 7月22日 天宗瓜破東園 竣工式  
 令和 2年 1月22日 収益事業として (1) 駐車場等及び空室賃貸業 (2) 保育用品販売事業を実施  
 令和 4年 4月 1日 病児保育(体調不良児保育)実施

## 2. 令和6年度 年間保育日数・園児数・職員数 (合計)

- 日数・月の保育日数 ○ 園児数・標準時間保育児数と短時間保育児数
- 職員数・職員1 左側は保育士常勤職員数 右側は保育士以外の職員数
- 職員2 1日6時間以上勤務パート保育士職員数(社会保険加入者) 右側は他職員数
- 職員3 左側は週20~30時間勤務保育士 右側は保育士以外職員
- 職員4 左側は派遣を除く週20時間未満保育士勤務者、右側は保育士以外雇用保険未加入者
- 職員5 左側は保育士・看護師の派遣職員 右側はその他の派遣職員

	瓜破園		瓜破東園		長吉園		東住吉園		清見台園		矢田第三園		合計	
日数	293日		291日		293日		293日		289日		292日			
区分	標準	短時	標準	短時	標準	短時	標準	短時	標準	短時	標準	短時	標準	短時
0歳	87	13	103	13	69	39	106	2	22	9	21	51	408	127
1歳	297	61	346	49	359	33	190	62	99	7	126	16	1417	228
2歳	293	67	356	70	316	113	176	87	23	15	173	15	1337	367
3歳	383	63	354	116	424	120	222	102	63	3	133	80	1579	484
4歳	353	89	414	80	435	127	227	118	94	12	199	11	1722	437
5歳	363	117	415	131	419	133	193	60	63	9	144	63	1597	513
小計	1776	410	1988	459	2022	565	1114	431	364	55	796	236	8060	2156
職員1	254	60	266	60	271	36	247	57	64	18	144	48	1246	279
職員2	19	0	67	6	57	24	33	0	6	18	24	12	206	64
職員3	12	0	12	6	0	0	24	24	16	18	0	16	64	64
職員4	0	24	0	18	46	0	22	36	12	32	12	14	92	124
職員5	0	0	0	6	0	12	0	0	41	27	0	0	41	45

総合計 園児延べ数 10,216名(827名減少) 職員延べ数 2,225名(22名減少)  
 0歳児 535名(-122) 1歳児 1,645名(+121) 2歳児 1704名(-212) 3歳児 2,063(-137)  
 4歳児 2,159名(-91) 5歳児 2,110名(-386)  
 天宗東住吉園 支援事業利用者 職員数延べ 36人 年間利用者数 延べ 大人 1,202人(+360)  
 子ども 1,290人(+393) 実施日延 242日(0)

### 3 令和6年度 年間開所日数・利用者数・職員数

#### 通所介護

	てんそう苑	平野地域デイ	合 計
延利用者数	5018	4650	9668 (月805.7)
要支援 1	68	62	130 (月 10.8)
要支援 2	166	103	269 (月 22.4)
要介護 1	623	689	1312 (月109.3)
要介護 2	1440	1833	3273 (月272.8)
要介護 3	1346	388	1734 (月144.5)
要介護 4	914	538	1452 (月121)
要介護 5	461	1037	1498 (月124.8)
平均利用者延べ数(日)	16.45	15.24	31.69
事業日数	305	305	610 (月50.8)
常勤職員	65	36	101 (月 8.4)
パート職員 1	37	13	50 (月 4.16)
パート職員 2	6	36	42 (月 3.5)
パート職員 3	69	60	129 (月10.75)
派遣職員	8	0	8 (月 0.67)

パート職員1=1日6時間以上勤務者(社会保険・雇用保険共加入者)

パート職員2=1週20時間以上30時間勤務者(社会保険・雇用保険加入者)

パート職員3=1週20時間以下勤務者(保険未加入者)

派遣職員=派遣で勤務する職員(勤務時間不問)

#### 訪問介護

	てんそう苑	平野地域デイ	合 計
延提供件数	3914	1626	5540(月461.7)
介護給付	3008	1357	4365(月363.8)
予防給付	906	269	1175(97.91)
介護利用者数	205	137	342(月 28.5)
予防利用者数	149	62	211(月17.58)
利用者数小計	354	199	553(月46.08)
生活	1056	44	1100(月91.67)
身体(身体生活含)	1952	1313	3265(月272.1)
予防	906	269	1175(月97.92)
常勤職員	24	24	42(月3.5)
パート職員 1	0	0	0
登録ヘルパー	118	24	142(月11.83)

パート職員1=1日6時間以上勤務者(社会保険・雇用保険共加入者)

登録ヘルパー＝登録されているヘルパー数

#### 居宅介護支援（ケアマネ）

	てんそう苑	平野地域デイ	合 計
延利用者数	1 2 7 0	8 1 7	2 0 8 7 (月 1 7 3.9)
要支援 1	2 0 6	7 5	2 8 1 (月 2 3.4 1)
要支援 2	1 0 1	1 4 7	2 4 8 (月 2 0.6 7)
要介護 1	2 2 2	1 5 8	3 8 0 (月 3 1.6 7)
要介護 2	2 3 8	2 1 9	4 5 7 (月 3 8.0 8)
要介護 3	2 1 7	8 0	2 9 7 (月 2 4.7 5)
要介護 4	2 3 0	7 6	3 0 6 (月 2 5.5 0)
要介護 5	5 6	6 2	1 1 8 (月 9.8 3)
常勤職員	3 6	2 4	6 0 (月 5)
パート職員 1	0	0	0

パート職員 1 = 1日6時間以上勤務者（社会保険・雇用保険共加入者）

#### ランチ

	てんそう苑	平野地域デイ	合 計
延相談件数	1 6 6 8	1 3 5 6	3 0 2 4 (月 2 5 2.)
訪 問	4 4 4	3 9 8	8 4 2 (月 7 0.1 6)
電 話	1 0 7 6	8 4 0	1 9 1 6 (月 1 5 9.6 7)
来 所	2 4	7 0	9 4 (月 7.8 3)
その他	1 2 4	4 8	1 7 2 (月 1 4.3 3)
実件数	1 6 1	1 4 9	3 1 0 (月 2 5.8 3)
常勤職員	1 2	1 2	2 4 (月 2)

総合計 デイ利用者延べ人数 9,668名(+0) 訪問介護延提供件数 5,540件  
 (+108) ケアマネ利用者延べ人数 2,087名(+20)  
 ブランチ介護支援相談延べ人数 3,024名(+115)

## 4 施設設備関係

### (1) 固定資産物品の取得(10万円以上)

施設名	固定資産物品	購入業者名	金額(消費税含む)
法人本部	マウスパソコン一式	マウスコンピューター(株)	
瓜破園	食器消毒保管庫	今木厨房設備	
	ほのぼのクラウドシステム	(株) SHINKO	

	会計用NECパソコン一式	(株) SHINKO	
瓜破東園	なし		
長吉園	屋上プール目隠し加工	(有) タキシム	
東住吉園	富士通パソコン	上新電機	
	ダイキンエアコン	アトム電機	
	防災バッテリー	楽天	
	クラウドソフトウェア	シンコー (株)	
	カーペット	朝日リビング	
子育て支援センター	なし		
清見台園	パソコン LenovoV15Gen4	(株)長野OAシステム	
矢田第三保育所	富士通ノートパソコン	(株) エビス商会	
てんそう苑	デスクトップパソコン	阪南ビジネスマシン	
平野地域デイ	パソコン一式	アップル	

## (2) 施設設備及び修繕(10万円以上)

施設名	設備・整備・修繕名	業者名	金額(消費税含む)
法人本部	なし		
瓜破園	なし		
瓜破東園	ウッドエアテーブル抗V4人用11台	フレーベル館	
	チェアフロリアB 2歳児用 41脚	フレーベル館	
長吉園	電気錠入れ替え	(有)タキシム	
	別館面付鎌錠前取り付け、ドア交換	(有) タキシム	
	本館階段室LED工事	(有)タキシム	
	本館2階トイレ、別館廊下手洗い修理	(株)三晃設備	
	別館1階保育室腰壁設置工事	(有)タキシム	
	園庭大型遊具プレイシャッター修理	(株)コトブキ	
東住吉園	天井修理	朝日リビング	
	床修理	朝日リビング	
清見台園	厨房フード・換気扇取替工事	(株) ビテイ	
矢田第三保育所	なし		
てんそう苑	ボイラー交換	巴ボイラー	
	スぺーシアエンジン交換	(株)モリタ	
	屋上防水工事	(株)伸幸商会	
平野地域デイ	配管工事	クリエイト	
	浴室ドア交換工事	わくわくかパニー	